

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 。 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19年 10月 25日
事業所名	はるすのお家 尾張旭
ユニット名	燦々(1階)
事業所番号	2374500607
記入者名	職名 管理者 氏名 福本 弥生
連絡先電話番号	0561-54-5508

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○毎月のミーティングにて理念を読み上げている ○事業所独自の理念がある○「その人がその人としてその人らしく生きるために支え続けることを使命とします」が介護理念である○玄関に掲げている○運営方針、事業目的で地域との連携をうたっている	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○取り組んでいる○理念に近づけるように努力している○ミーティングで話し合っている○毎回ミーティングのときに管理者と職員で介護理念を唱和している○上記理念に基づいて日々の支援を行っている	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○理解していただけるように、玄関に掲示している○散歩などの時には挨拶をするようにしている○毎月のミーティングで理念の再確認を行っている○入居者の家族のらい所持に折に触れて理解してもらえよう努めている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○日頃からあいさつや立ち話をしている。○隣近所の人たちには挨拶は必ず行う○気軽に挨拶している○野菜など畑で取れたものを近所の方は持ってきてくださる○挨拶は基本ではあるものの行事には遊びに来てもらっている○隣近所の方が畑で採れた野菜など持ってきてくださることがある○散歩時や買い物時、また出勤、退勤時「こんにちは」と挨拶を心がけている朝夕の挨拶をしたり、季節の野菜や花等分けていただいたり。又ホームで作ったものを独居の方へ持っていくなど交流を広めている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○公園掃除や回覧板をまわしてもらい、行事に参加出来ることへはできるだけ利用者と一緒に参加するようにしている○運動会や行事などには参加している○スクールガードなども行ったり、公園に花を植えに言っている○町内行事にも参加している	○ ○当施設での行事に地域の方が気軽に参加できるように声をかけていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	○フリーマーケットなどを市民祭で開催している。○ミーティングなどでも話し合っている○散歩がてらスクールガードなど行っている●話し合ったり取り組んだ事はない○散歩のや買い物の際には近所の高齢者にも声をかけている	○	○もう少し地域の人たちとの交流を深める場所を作る○地域のお年寄りやと仲良くなれる機会がある と思う
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	○1年に2度行っている○評価の結果などミーティングで話し合っている○1年に2度スタッフは個人面談をして話し合いをしている○外部評価後改善するところを見直しよい方向へと考えている		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○2ヶ月に一度開催している(2)○管理者が取り組んでいる(2)○ミーティングを行い、入居者一人ひとりについて話し合い、サービス・ケアの向上に取り組んでいる○さまざまな報告をし、出席者の方から意見を頂いている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	○取り組んでいる○管理者等が行っている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	○入居者の方、一人ひとりの意見を聞き、個人としての権利を尊重している●事業所として学ぶ機会は持っていない○講演会のチラシは掲示されていた	○	○勉強会やミーティングなどで制度についても学んでいけると良い○実施している事についても職員へ周知できるように努める必要がある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	○ミーティング時などで話し合い、ひとり一人は虐待防止を努めている○月1回勉強会などで扱われることがある○入居者の方への言葉遣い、接し方に一人ひとりが注意を払っている○虐待などないと思います。全て入居者に良かれと思う支援を心がけている○介護計画を通し、どのような行動が『虐待』になるのかを話し合っている●法律について学ぶ機会は持っていない○虐待がない様な介護に注意は払っている○法律として制定された際に説明や詳しい資料の配布があり、同時に家族への説明も行っている○言葉が暴力になりうるという事をみんなが理解をしている○勉強会で学んでいる	○	○勉強会やミーティングなどで制度についても学んでいけると良い○実施している事についても職員へ周知できるように努める必要がある
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○紙面に説明書きをし、随時伝えている。また、話を伺っている。○契約、契約解除の際は十分な説明を管理者が行っている○管理者がご家族と直接話し合い、行っている○入所前より必ず説明し不安や疑問もたずね理解していただけるまで説明している。○解約時も事前に話し合っている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○家族と利用者の話し機会があり、その際に家族の方から不満等を聞く○ミーティングで話し合っている○実施している○利用者が日常の中で言った意見、不満、苦情等、記録に残すようにしているが、特別そういった機会は設けていない○外へ出かけたいという入居者の方の意見を聞き、職員で話し合い取り入れている○苦情受付の様式が設けられている●利用者が運営に関し意見はしていない○運営推進会議へ利用者が参加し、行事の感想や食事について話す機会があった	○	○実施している事についても職員へ周知できるように努める必要がある
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	○報告している○個人記録に健康状態などを記入し、家族へ見せている○家族へ電話や手紙などで報告している○毎月行っている○管理者が家族と直接面会し報告を行っている○事業所が定期的に又臨時に発行するものを通して入居者家族にも報告している○月に一回、通信、個人の身体・精神状態の記入したものをご家族へ送っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○書面へ記入したり、言いにくい事は国の機関があることを説明している。○家族との話す場を設けて、不満・苦情を聞いている○常に行っている○苦情などあった場合、書面にて記録し、職員全体が目を通すようにしている○ミーティングの際にも話し合う○ご家族からの意見、指摘を真に受け止め生かしている○ミーティングや朝夕の申し送り等で連絡帳等を確認して活かしている○外部の方にも見て頂ける様にファイリングしている○その都度スタッフとも話しあい解決策を考えている		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○ミーティングの際、職員の意見などを言う場がある○毎月のミーティングにて実施○良かれと思うことは管理者や計画作成へ随時、話している●特に機会は設けられていない		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○毎日対応できるスタッフが勤務している。また、不在時にはこちらから連絡をするようにしている○ミーティングで話し合っている○努めている△特に通常人員にプラスはされていない	○	○介護保険法に基づく人員配置に関する説明を職員にするようにし、現状の人員配置に余裕が本来あることを理解してもらう機会を設けていきたい
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	○異動は社員のみだが、これまでに前例が無い○スタッフの個性も考えて各ユニットの配置を考えている○フロアーの変動はあるが、他のスタッフで馴れるまでのフォローをするように指示はある		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○1～4週と課題が設定されている○きちんと研修期間（約1ヶ月）も設けられていて、先輩スタッフから指導してもらえる○研修など行われている○毎月勉強会をしている○入社後、こまめに声をかけてもらうことができる○社員は研修・講習会に参加している○パート職員も他施設研修の機会がある		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○管理者が取組んでいる○他GHへも積極的に訪問または行事を行う時は施設にも声をかけている○勉強会がある○他施設研修に行っている○他施設から研修や見学に来る方もいる		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○年に2度の面談がある○個人面談など行われ、意見等きいている○年に1～2回歓迎会（飲み会）がある○個人的に話をしたり、行事外でスタッフと集まる行事等企画したりしている○スタッフにはこまめに声をかけてもらっている○15分フロアーから離れて休憩時間がある	○	○職員の不安、不満などを聞く場を作る○15分間は殆どの職員が記録に費やしている（ストレスにつながっているかは不明）
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○管理者が指導に当たり、その都度職員に声かけをしている○用事があるときには休める配慮がしてもらえる○年に2回自己評価が行われ、管理者からの評価もされている○努めている		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○常に話し合いをしその中で知っていく。○常に利用者とのコミュニケーションから不安などを聞き、それを生かしている○入居者の方とお話をするとき良く聞くよう心がけている	○	○もっと話を傾聴して受け止める努力をしたい○本人自身からの意見や思いがもっと聴けるように努力をしたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○管理者、リーダー、計画作成などが家族から不安、不満などを聞きだしてそれを受け止め生かしている○家族や本人が施設と話し合ったりして行っている○面会時には必ずご家族へ声をかけている○申込や見学希望を受けた時から話をする機会を設けている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○意見はすぐに対応できるようにそのときから行うようにしている○出来るだけ本人や家族から希望を伺い、他サービスも含めた対応や提案をしている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○徐々に慣れていくようにコミュニケーション作りをしている。○お試し期間を設けている○時間もそれぞれに対応し徐々に馴染めるよう取り組んでいる○その人に合ったサービスに努めている○デイサービスなどを実施しなれる方も居る●どうしてもその当事者へ集中するあまり、他入居者への配慮が欠ける○家族とは面会時や文章を当して相談をしている	○	○他利用者への配慮をしていく○職員の事前のイメージがかけられているので、全職員が事前準備、情報収集の徹底をする
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○利用者とのコミュニケーションや生活をする中で、喜怒哀楽をともに感じている○自分でできることはできるだけ自分でやっていただくよう声をかけ、時には家事なども手伝って頂く○入居者の声を真に受け止め、一緒に笑いながら過せるよう心がけている○入居者の話を親身に聞き、嬉しいことは共に喜び、そうでないことは分かち合えるようにしている○一緒に過す中でいろいろな事を学んでいる○調理方法、味付、歌詞、昔の事など話題に出しては学んでいます。	○	○もっと家族と職員の間コミュニケーションを増やす○利用者から学んで支えあう関係を築いていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○共に生活するうえで、食事の手伝い・片付け・洗濯物の整理など、利用者にできるだけ行ってもらいその中で関係を築いている○入居者の方と家族の方が楽しそうにお話をできるように努めている○家族に対しても親身に聞き、嬉しいことは共に喜び、そうでないことは分かち合えるようにしている○必要物品の購入はご家族に伺ってから行っている○身体状況の変化については管理者がご家族に連絡し今後を決めている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○管理者が取り組んでいる○定期的に面会に来ていただき、居室でご家族で時間を過していただく○入居者の家族のことも積極的に理解するように努め、本人の支援に活かすようにしている○月1回お便りを出し1ヶ月の様子をご家族に知らせ常にどのような生活をしているのか情報提供し面会時の会話の題材として支援している	○	○あまり知らない人も居るため、知っていく事が必要
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○食卓の席などをできるだけ変更しない○馴染みの場所を聞いたり、時には時間を作ってその場所へいったりと支援している●なかなか支援できていない現状がある○特別な場所がある場合は忘れないように働きかけている	○	○まずは知っていく事が必要
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○スタッフが中に入り、関わりあえるようにしている○相性の合う合わないを把握しそれに適した対応をとる。孤立しないよう職員が利用者の間に入って仲立ちをする○アセスメント表に基づきミーティングで話し合っている○必要な時は利用者同士の間に立ってスタッフが仲介することもある○入居者の方が互いに声をかけ係わり合いを持てるよう心がけている○日々の関わりから気の合う人合わない人を把握しているのでその関係を維持するように努めている○たとえば食事の座る位置を利用者の関係を把握し決めている●入居者全員にはできていない	○	○入居者同士のかかわりが増えるよう働きかけて生きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	○管理者は時々連絡を取っている様子		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○努めている○利用者とのコミュにケーションの間からその人に合った希望を聞いて把握に努めている○ミーティングで話し合っている○実施している○思い、希望が聞かれた場合は記録に残し、ミーティング時に話し合いを行っている○入居者の方のしたいことなど意見を聞くようにしている○入居者の思いや暮らしの希望や意向は大体つかんでいる○無理の無い範囲で本人の意に沿うように心がけている○3ヶ月に1度アセスメントを見直し入居時には1ヶ月で見直し、情報を収集している	○	○一人ひとりの思いを暮らしの中で見つけていきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○常に利用者のカルテにて確認をしている○アセスメント表に基づきミーティングで話し合っている○実施している○入居時に家族の話聞き、全施設での状況状態などの把握をする○入居者との触れ合いの中で聞き取り等で把握するように努めている○入居時に家族にセンター方式で記入してもらう○ご家族や以前利用していた施設の人に聞いたりしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○できるだけ対応できるように努めている○常に記録をとりそれを確認している○アセスメント表に基づきミーティングで話し合っている○毎月確認している○職員各自でこまめに声かけをし、ミーティングで意見を出し合い統一した介護を目指す○一人ひとりの暮らし把握できるように努めている○毎日の業務の中で必然的に把握している○3ヶ月に1回アセスメントを見直し、プランに挙げて全スタッフで話し合い、把握するように努めている	○	○一日の過ごし方心身状態を把握していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	○意見しつづけている○ミーティングの場や家族とのコミュニケーションの間に意見を聞きそれを実行している○アセスメント表に基づきミーティングで話し合っている○毎月スタッフ全員で話し合いをしている○アセスメントの中に本人・家族・スタッフの意見を書くところに記入し、どのように支援していくか介護計画に入れている	○	○直接家族からも口頭で伝えていただくこともあり、プランに入れている○ミーティングにて話し合いをしていきこれから役立てたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○3ヶ月ごとに行っている○常に利用者を見ていて変化があった際にはそれにあった計画を立てている。○ミーティングで話し合っている○毎月話し合いをしている○状態が大きく変化した時は再アセスメントして、新しい計画を作成している	○	○介護計画の見直しはこれからも必要とし、見直していきたい
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○常に個人記録に書きその情報を共有している (2) ○毎日確認をして、また、毎月話し合いをしている○毎日、利用者の行動・言動・介護内容について細かく記録している○常時メモ帳を携帯してその都度個別に書きとめ介護に活かすようにしている○プランに上がるものは青色で記入し介護計画に生かしている	○	○気づき、どのような時にどんな表情をしているのかまで細かく記入する必要有。それをプランに活かしたい○介護計画の見直しのためにももっと記録を充実させ活用したい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○事業所の機能性を十分に活用するように努めている○家族の状況に応じて、通院の送迎や付添を支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○取り組んでいる○必要に応じて警察やタクシー、地域の方に協力して支援している	○	○もっと連携を取れる状況を作る○以前はボランティアの方も見えたが、現在は無い状態。今後新たにボランティア等受け入れGHを理解していただけるようにしていく必要有

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	○している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○今の所あまりない。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○受診している○かかりつけ医をつくり、安心した医療を受けられるようにしている○取り組んでいる○行っている○今までに見ていただいた病院、それが無理な場合はホーム指定の病院で支援している○受診日にはそれまでの具体的な状況を医師に報告し適切な医療を受けてもらっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	○定期的に或いは必要に応じて特定の医療機関を利用している	○	認知症専門医の関係を築くのは困難。認知症の適切な医療を受けられる医師が必要。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	○している○アセスメント表に基づきミーティングで話し合い実施している○看護師の職員と入居者の健康管理についてよく話し合うようにしている○協力医療機関の病院や受診先の医師、看護師に相談している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	○している○管理者、看護職員が病院関係者と情報交換に努めている○入院するとすぐにソーシャルワークに連絡し医療側への情報を提供できるよう連携を取っている	○	○はっきりしたものが無いため終末期のチームケアは今後の課題
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○利用者の状況を把握してその人の対応に努めている○常に話し合いをしている○朝・夕の申し送りや状態悪化の時は臨時で病院受診しているがその時、その時の対応になっている○ミーティング等で医師や家族と話し合われた報告があり、その都度申し送りや連絡ノートで情報共有するようにしている	○	○はっきりしたものが無いため終末期のチームケアは今後の課題
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○かかりつけ医などにも相談に乗ってもらいながら、その情報を共有し職員が対応に努めている○支援に取り組んでいる○申し送り、ミーティングにて話し合っている○ある程度はチームとして支援できている	○	○はっきりしたものが無いため終末期のチームケアは今後の課題

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	○努めている○ケア関係者で話し合いがもたれている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○確保している○ミーティングで話し合っている○馴れ馴れしい態度や言葉遣いに気をつけるよう努めている○入居者のプライバシー保護には十分注意している	○	○言葉の対応は大切で、今後もっと気をつけて生きたい○個人情報が漏洩する事がないように慎重に取り扱って行きたい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○アセスメント表に基づきミーティングで話し合い実施している○どうしたいのか、きき、わからないと言う人には選択肢を与え決定していただく○本人の意思をきき、それに少しでも近づけるよう努めている○本人がどのようにしたいのか気をつけている○命令等はせず入居者自信がそうしたいというようにしている	○	○些細なことでも、本人に確認して、その意思を尊重する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○出来るだけ、過していただけるように随時伺っている○ミーティングで話し合っている●ペースにあわせて・・・というのは業務に追われて行えないこともある○一人ひとりのペースで体調などを意識して支援するように努めている○その日その日に声かけをし、一日を過している○可能な範囲で希望に沿うようにしているが、職員都合優先になる事もある	○	○職員が忙しくても、それにより利用者に不安を与えないように配慮する○一人ひとりのペースにあわせ一日を過していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○できるだけ本人に服などを選んでいただいている○希望があれば、その理美容店へ行く○職員が本人の希望するような髪形に散髪したり、身だしなみ・おしゃれに心がけている○身だしなみには気をつけている○美容は家族が気にかけてカットしている方も居る○外出時には特別な洋服を選択したり、化粧をしたりしている●お洒落という域には達していない	○	○本人の希望をかなえていきたい
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○味付けしてくださる時もある○利用者は献立を考えたり、一緒に片づけを行っている○毎日何が食べたいか？どんなものが好きか？スタッフが全部決めずに利用者と一緒に決めている○可能なこと、得意なことを手伝って頂く○献立も利用者と一緒に考える○彩り、栄養などに気を配り、食事の準備は入居者の方と一緒に取り組んでいる○入居者が喜ぶような献立を考えて作るようにして○買い物から参加してもらっている	○	○楽しく食事ができるように一緒にしていきたい ○食事形態が異なる（刻み食・ミキサー食等）入居者にも楽しく、美味しい食事になるように改善したい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○好みに合わせて購入している○利用者の好みに合わせて状況によりお酒などを出している○おやつ、食事等必ずひとり一人に聞いている一人ひとりの健康状態に配慮しつつ、入居者の方の好みのものを召し上がっていただけるよう努めている○嗜好品は家族の方が持って見え預かったり、喫茶店に連れ出したりして楽しめるようにしている	○	○健康、身体状況に合わせてできる限り提供する
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○随時、トイレ誘導をしている○その利用者に合った排泄の支援をしている○気持ちよく排泄できるように努力している○ひとり一人のパターンを考えてスタッフが一緒に行っている○排泄意、排泄感覚を察知・把握しトイレ誘導を行っている○パットしようが外れた方や、常時トレパン使用からパンツ使用に変更になった方も居る		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○いつでも入れるよう対応している○利用者に合わせて入浴を決めたり、体調によって入浴の可否を決めている○入浴を楽しんでいただけるように努力している△希望があればできる限り行っているが、時間的や状況的にもできないことも○希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように支援している○夕食後でも入浴できるように出来るだけ努力している	○	○寝る前に入りたい方を出来るだけそのようにしていきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○夜ぐっすり寝れるように、昼間寝ないようにしたり、運動や散歩を心がけている○眠そうにしているときは声かけし居室で寝ていただいている○利用者のその日の状況を見て決めている	○	○一人ひとりにあわせた休息を取って活きたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	○歌を歌ったり散歩などで気晴らしを行っている○アセスメント表に基づきミーティングで話し合い実施している○好きな曲、好きな歌手のビデオを見たり、一緒に部屋の掃除をしたりしている○自宅でしていた家事等、良く手を出されたり畑の花等観られたりと楽しまれている●全利用者にとって役割を発揮でき気晴らしの機会があるとは言えない	○	○一人ひとりの楽しみごとや気晴らしをつくり、習慣として確立していきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○管理できる方にはご家族が持参してもらっている○ミーティングで話し合っている○管理をできる方は自分のお金でお茶を飲んだり買い物に行ったりと楽しんでいる		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○出来るだけ対応している。○近くへ散歩に出かけたり、買い物に行っている○取組んでいる○コーヒーを飲みに行ったり、買い物へ行ったり温泉へ行ったりしている○散歩、行楽、外出、外食など季節に合わせて出かけている○一人ひとりの希望というのは無理があるが、ホームとしてあらゆるいろいろな場所に小グループで出かけ楽しめるように支援している○体調、天気に応じて出かけている●必ずしもその時の希望には添えていない	○	○外出は多くで見るようにしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○温泉、参拝へと出かけた○ほぼ毎月、普段いけないところへ利用者を連れて出かけている○支援している○イチゴ狩り、温泉日帰り旅行へ行く○季節に合わせて場所や（桜見物・紅葉）お寺参拝など行く○ご家族にも協力いただいている		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○季節ごとに手紙を書く方も居る○電話をかけて欲しいと希望される方にはかけていただいている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	○来て頂いた時は居室で過されることが多い○いつでも気軽に訪問できるようにスタッフが明るく出迎えている○行っている○家族、親戚、友人が来てお部屋とか好きな場所で会っていただいている○本人のなじみの人が訪問してきたら、快く迎え居室などでゆっくり過していただく○入居者の方と歌を歌ったり、外にも陽気な声が聞こえいつでも気軽に訪問していただけるように心がけている○いつでも、どなたでも着てくださるよう居室の整理整頓をし、入居者の方と一緒に挨拶やお茶の接待に心がけている○何時でも自由に訪問して頂けるように玄関の鍵はかけていない		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○取り組んでいる●全ての職員が正しく理解はできていないと思う○勉強会で取り上げ実践している	○	○もっと職員への知識の共有が必要○みんなで学び理解する機会を持ちケアにつなげていく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	○取り組んでいる○日中、玄関を開放している鍵をかけないケアを心がけている○施錠時間は20時から朝7時		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	○随時行っている○本人のプライバシーに配慮しながら関わり見守りをしている○常に見守りを心がけ必要であれば声をかける○入居者の方の所在を意識し、安全に過せるよう様子を把握できるよう心がけている○ご自分で動かれる人は特に所在を把握し座っている方もいつでも視野に入れている○トイレのドアやベッド柵に鈴をつける等している	○	○転倒リスクの高い入居者に対してどうしても座らせっぱなしのためもう少し安全に行動できるよう考えていきたい○入居者の様子を把握し安全に配慮したい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	○危険なものを近くに置かないこと○取組んでいる○注意の必要な物品を使用される際には職員がそばについている等して対処している○注意の必要なものは職員が運んだりし、安全に使用していただけるよう注意し、職員一人ひとり危険を防げるよう努めている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	○防止の為にケアプランをたて、起きた際、今後どのようにしていったらいいか記入している (2) ○利用者のニーズに合った対応をしている。情報を共有し、ひとり一人に合った対応をしている○ミーティングでの話し合いをし取り組んでいる○もし事故が起きてしまったら再発防止に向け検討して記録し、職員全員が目を通す○誤薬をふせぐために、日付、名前、薬の数を確認をし、最後まで飲み込んだかを確認するように取り組んでいる○いろいろな機会を捉えて、知識を広め事故防止に最大限の注意を払っている○それぞれにマニュアルもあり、毎月項目を決めて勉強会も開いている		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	○急変・事故発生時の対応についてはマニュアルがある。個々で確認するシステム○ミーティングの際一通りに手技は学んだ●定期的に学ぶ機会はない●いざという時に全てのスタッフが応急手当、初期対応をできるレベルではない	○	○訓練を定期的に行う○吸引器や水銀の血圧計の扱い方を定期的に学ぶ必要がある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○3ヶ月に一度行っている○昼夜を問わずスタッフ利用で避難訓練をしている○職員の緊急連絡網を作り定期的に防災訓練を行っている○行った後に見直し、次に生かしている●地域の人への働きかけはできていない●定期的な避難訓練以外特に何もしていない	○	○少しずつ具体的な訓練になってきているが、関わるスタッフも限られており（当日勤務者）全体のスタッフで関われるような取り組みが必要○防災カードを作り、災害時に入居者の方の状態がわかるようにしている（作成中）
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	○ミーティングのときに話し合っている○管理者が行っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○対応している○毎日、利用者を観察し何かあれば記録に書き職員に情報を共有する○毎日、朝・夕とバイタルチェックを行っている○毎日確認している（朝・夕礼以外も）○変化・異変があった場合、職員同士で相談し対応する○トイレ誘導時など、入居者の方の様子や異変に気づけるように努め、異変時は速やかに対応できるように努めている○早め早めの対応をしている	○	○体調の変化に気づき、申し送りをして対応に結び付けられるようにしたい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○こまかくまでは理解していないが、現病歴を出るだけ把握するようにしている○毎日薬の確認などを行いチェックしている○理解している○薬についての説明を確認し症状の変化の確認に心がけている○薬の内容等はひとつのファイルにしてある○投薬の際にも声に出し、誤訳をしないように注意している	○	○症状の変化にはもっと敏感に感じなければならない

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○声をかけ歩いたり、水分摂取・食物繊維・豆製品を摂取してもらえるように心がけている○飲食の工夫をしている○外へ出かけ運動するようにしている○排泄につながる食事の工夫や水分摂取運動などを心がけている○利用者の状況を確認して水分摂取、食事の工夫適度な運動を心がけている○水分摂取量を確認している○毎朝体操をしている●便秘に対する意識が一人ひとりバラバラ	○	○食事の内容を工夫していきたい○特に運動が（体を動かす事）ができていないためもっと取り組んで行きたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	○行なうよう声かけをし行なっている○毎食後、口腔ケアを行っている○その方にあった義歯洗浄・うがいを支援している	○	○口腔ケアを徹底していく
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○出来るだけ心がけている○その人に合った水分量を摂取するように努力している○チェック表や献立表などを工夫して健康に過せるように努めている○ひとり一人確認している○食べる量、水分の量は必ずチェックしている○好みに合わせて食事を変更したり、体の状況に合わせて量を変えたりしている○お茶以外の水分も勧めている●細かい栄養バランスの把握はできていない	○	○水分は時間を考えて摂取をしないと夜間不眠につながるため、個人レベルでもう少し考慮する必要がある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○初期予防（手洗い・うがい）をしている○施設側で家族と相談し予防接種などに努めている○外から帰設したら手洗いうがいなど行っている○流行する時期には早めに対処方法を確認○トイレの手すり、便座の消毒をしている	○	○マニュアルを各ユニットに配置しているが周知がされていないのが現状。1年に数回は確認のため全スタッフへの伝達が必要
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	○まな板、包丁を消毒したりしている○食品はしっかり保存されている○常に消毒をしている○台所は常にきれいに○食材等は日付のチェックをし火のとおり具合に注意○まな板、ふきんの消毒など行う○新鮮で安全な食材を使用するように心がけている○中国産の食材購入は控えている	○	食中毒の予防に消毒は毎日していく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○花を置いたり、鉢植えている○玄関にはスロープが設置されていたりバリアフリーができている○安心して出入りができる○出入りしやすいように通路に物を置かない○雨などの理由が無い限り日中は玄関は開放されている○ベンチ置いてあり、入居者の方の写真や花が彩りよく飾っており、親しみやすいように工夫してある○玄関は広く出入りしやすい		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○玄関などには花や野菜の育て、季節を感じられる花などを置いている。○テーブルに季節の花や月の行事物を置く○トイレは常にきれいな状態であるよう心がけている○心地よい風が入ってくるように工夫している○他の人の耳障りにならないようにTVを観るときは音響を最小限にしたり眩し過ぎないようにカーテン等で調節するよう配慮している○ひとつひとつの空間が広く生活しやすくなっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	○ソファやベンチ、たたみを置き。どこへでも座り、過せるようになっている○椅子やベンチの設置によって利用者同士が自由に過ごせる空間を作っている○一人ひとりの部屋がある○気のあった同士と一緒に隣り合うことを妨げないようにしソファでくつろげるように努めている		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○家から馴染んだ家具等を持ってきていただいている○家族と本人が相談をしてできる限りのものを自由に置いている○居室に飾り物、テーブルなど居心地良く過せる工夫をしています○昔から使っているものや思い出の品を置いている○居室にはご本人や家族の写真、ご家族からプレゼントされたものを飾っている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	○換気をこまめに行っている○その日その日によって喚起、窓の開け閉め等も兼ね冷暖房の調整をこまめに行っている○温度計を見て確認している○温度に応じて、または希望に応じて冷暖房を使用○外気温によって適切な温度に保ち換気を心がけている○加湿器の使用		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	○スロープなどバリアフリーができている○適応しやすい環境を提供している○一人ひとりの状況に合わせた家具の選択・配置等を行っている○バリアフリーになっており、入居者の方の体調などを気にしながら歩く練習などに心がけている○ホーム内の移動の際は入居者の自立度に応じなるべく見守るが支援には十分配慮している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	○ミーティングで話し合っている○料理をするのを手伝っていただいたり、入居者の方一人ひとりに合わせたできることを一緒にしていただくよう心がけている	○	○わからないようなら、何度でも説明し必要なら手助けはする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	○いろいろ花壇に植え、収穫している○窓の外に花を置いてみて楽しむようになっている○BBQしたり日光浴など○花壇作り、野菜作りなど○野菜や花など植え、朝夕の水やり等、利用者に手伝って頂くことがある○洗濯物を干したりしている	○	野菜・花などを育て楽しんで生活する

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○できることはできるだけご自分でやっていただく○常に外出したり、遠出したりと外の空気、社会に触れるように実践している○ホームページでも理解して頂けるよう、日々の生活を紹介している○玄関は鍵をかけずご家族・ご近所の方がいつでも気軽に出入りできるようにしている○介護度が重くなり、日々の業務的なことに終わることが多くなっている中、買い物に出掛けたり、ご飯を食べに行ったり等その人たちの暮らしの支援もしている○レクリエーション等はしていないが関われる人ができる家事を実践するなどその人なりのやりがいや生きがいを感じてもらう暮らしの支援を心掛けている